

地域住民と連携したヘリコプター運用訓練： 孤立集落の迅速な救援体制の構築

自治体名
静岡県掛川市
人口（R7.8.31現在）
114,477人

取組のキーワード

■ 孤立予想集落

■ 住民主体

■ 救急・救助

■ 物資輸送

地域計画の履歴

平成28年2月 策定、平成29年11月 改訂、平成30年12月 改訂、令和元年12月 改訂、令和2年12月 改訂、令和6年3月 改訂、令和7年3月 改訂

取組のカテゴリ

想定災害	地震災害	風水害	道路災害	
取組主体	地域住民	行政職員	国・都道府県・近隣自治体等（自組織以外）	
施策分野	警察・消防等	防災教育等	交通・物流	リスクコミュニケーション

活用した国の交付金等

—

取組の概要・ポイント

取組を実施するきっかけとなった背景や課題

- ✓ 市の北側は中山間地域で南海トラフ地震等に起因したげけ崩れで道路寸断が生じ、孤立することが懸念されている。
- ✓ 孤立予想集落では災害時に救援物資や傷病者の円滑な搬送が求められるため、警察・消防等の助けがなくとも住民が主体となってヘリコプターを誘導できるような訓練を企画。

取組と地域計画の関係

- ✓ リスクシナリオとして「2-2 多数かつ長期にわたる孤立集落等の同時発生」を設定しており、当該リスクシナリオに対する脆弱性評価として「道路の寸断等により孤立した場合に備え、通信手段を確保するとともに、ヘリコプターの誘導訓練を行う必要がある。」と記載している。

取組の内容

- ✓ 住民がヘリポートマークを描き、ヘリコプターを誘導する訓練や住民が白旗を振ってヘリコプターの着陸を誘導する訓練を実施。また、着陸したヘリコプターから物資を受け取り、住民が自ら避難所に運搬する訓練も行っている。
- ✓ 訓練は計14の孤立予想集落を持ち回りで実施。

今後の展開予定

- ✓ これまでに訓練を実施できていない孤立予想集落を優先し、随時、市内にある全ての孤立予想集落で訓練を実施する予定。
- ✓ 一巡後も継続的に訓練を行い、地域防災力を高めていく。

1 取組を実施するきっかけとなった背景や課題

- 掛川市は、静岡県西部に南北方向に伸びるような形で位置し、市内全域には土砂災害の危険区域が多く点在しており、特に南部地域では、南海トラフ地震による津波の発生が想定されている。このため、防災対策・強靱化施策を積極的に推進してきた。
- 中山間地域がある市の北側では南海トラフ地震等に起因するがけ崩れにより、道路が寸断されて孤立することが懸念される。
- 中山間地域の孤立予想集落では、災害時にヘリコプターを用いた救援物資や傷病者の円滑な搬送が必要になる一方、孤立時には警察・消防等の助けが期待しにくい場合も想定されるため、住民が主体となってヘリコプターを誘導できるようになることを目指した訓練を企画することとした。



掛川市内の孤立予想集落

(掛川市地域防災計画 共通対策編 (令和7年3月) より)

上西之谷、中西之谷、久居島、田代、黒俣、居尻、萩間、孕丹、初馬8区、倉真6区、東山、知連山中、佐夜鹿、本谷

2 取組の内容

- 令和元年度から住民主体のヘリコプター誘導訓練を開始し、市内にある計14の孤立予想集落の避難所において持ち回りで訓練を行っている。
- 具体的な訓練内容として、住民が石灰を用いてヘリポートマークを描き、住民が白旗を振ってヘリコプター（自衛隊・静岡県警・静岡県が所有）の着陸を誘導するものである。
- また、着陸したヘリコプターから物資を受け取り、住民が自ら避難所に運搬する訓練も実施している。
- 訓練の参加者は孤立予想集落の住民であり、市が事前に訓練に関する説明会を開催することでその趣旨に賛同を得るようにしている。

ヘリコプター誘導訓練の様子



3 取組と地域計画の関係

【地域計画における記載】

- 令和7年3月改訂の地域計画では、リスクシナリオとして「2-2 多数かつ長期にわたる孤立集落等の同時発生」を設定しており、当該リスクシナリオに対する脆弱性評価として「道路の寸断等により孤立した場合に備え、通信手段を確保するとともに、ヘリコプターの誘導訓練を行う必要がある。」と記載している。
- 当該リスクシナリオに対応する施策として「孤立地域における通信手段の確保、ヘリ誘導訓練の実施」を位置付けており、年1回以上の実施をKPIとして設定している。

4 今後の展開予定

- これまでに訓練を実施できていない孤立予想集落を優先して対象とし、随時、市内にある全ての孤立予想集落で訓練を実施する予定。
- 一巡後も継続的に訓練を行い、地域防災力を高めていく。
- その他の孤立対策として、災害時用に備蓄している防災用品を事前に孤立予想集落の住民に配布することを検討中。

参考 周囲の声（庁内職員・住民・企業）

- ヘリコプターの誘導実施により、具体的な対応事項を確認する機会となった。（地域住民）
- 関係機関との連携体制を確認する機会となった。（庁内職員）

！ 掛川市国土強靱化地域計画の特徴

- 国土強靱化地域計画に「誰もが住みたくなる、強く、安心なまちづくり計画」という独自の名称を設定し、住民が地域計画や国土強靱化に関する施策に親しみが持てるように工夫をしている。
- また、人口ビジョン・まちづくり理念など地方創生に関する「掛川市地域創生総合戦略」（掛川市では、「国から見た『地方』という言葉でなく掛川の『地域』を主役に置く考え方」をしている。）を地域計画において「国土強靱化に向けたその他の取組」の一つに掲げ、「国土強靱化及び地方創生の取組は、施策の効果が平時・有事のいずれを主にしているかの点で相違はあるが、双方とも、同じく地域の豊かさを維持・向上させるという目的を有するもので、両者の相乗効果を高めるため」、計画間相互の調和を図る旨を明記し、それぞれ取組を一体的に推進していくことを打ち出している。
- 本取組に関連したヘリ誘導訓練の実施に係るKPIをはじめ、各施策・事業を着実に推進していくためのKPIの設定が充実しており、対外的にも市の方針や姿勢を明確に打ち出せている。

< 該当箇所 >

誰もが住みたくなる、強く、安心なまちづくり計画
（掛川市国土強靱化地域計画） P.2、84等

2-2 多数かつ長期間にわたる孤立集落等の同時発生						
【地震・津波、洪水、土砂災害】地震（第4次地震被害想定）						
・孤立集落：7地区（久居島、上西之谷、田代、萩間、居尻、黒俣、初馬8区）						
	取組内容	指標	H26年度末実績	目標値	達成時期	担当課【計画】
63	○孤立予想集落（7集落）で住民によるヘリ誘導訓練を実施（年に1回以上）	実施率	100%	100%	R7年度（維持）	危機管理課
64	○孤立予想集落（7集落）へ地域防災無線を整備	整備率（集落数）	100%	100%	H25年度	